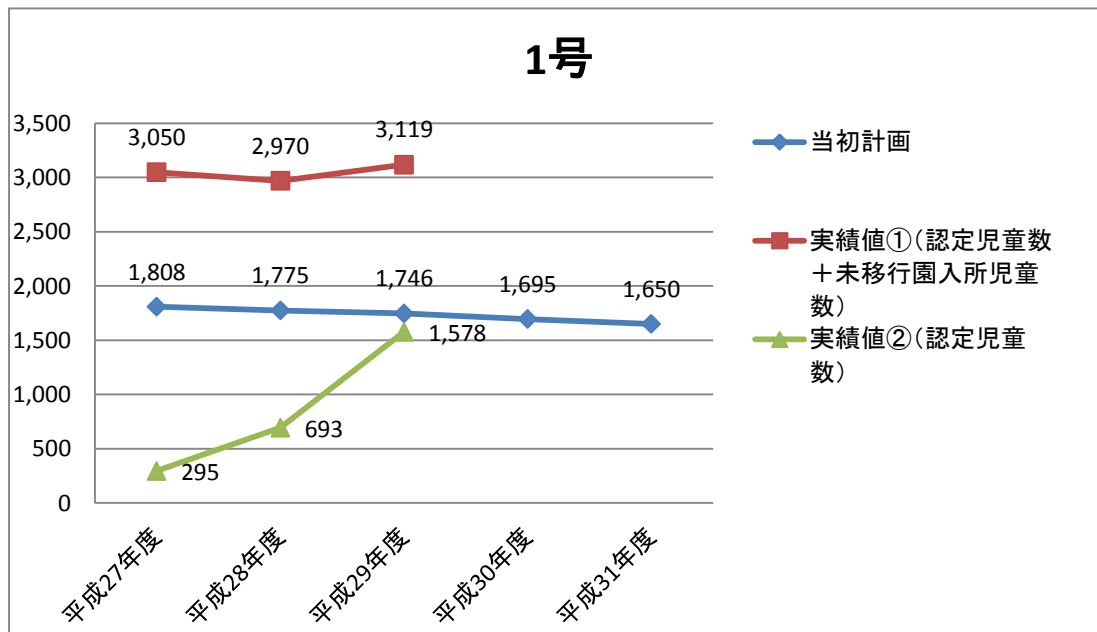


量の見込みの見直し

資料2

1号

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
当初計画	1,808	1,775	1,746	1,695	1,650
実績値①(認定児童数+未移行園入所児童数)	3,050	2,970	3,119	-	-
実績値②(認定児童数)	295	693	1,578	-	-
当初計画と実績値①との乖離割合	1.687	1.673	1.786	-	-
前年度との差①(伸び)	-	-0.014	0.113	-	-
当初計画と実績値②との乖離割合	0.163	0.390	0.904	-	-
前年度との差②(伸び)	-	0.227	0.514	-	-



【当初計画と現状分析】

○当初計画では減少していくことを見込んでいたが、実績値では増加傾向にあり、未移行園入所児童数を含めた実績値では当初の見込みを大幅に上回っている。
 ○認定児童数の実績値では、平成27年度から平成29年度までに5倍以上の伸びとなっている。

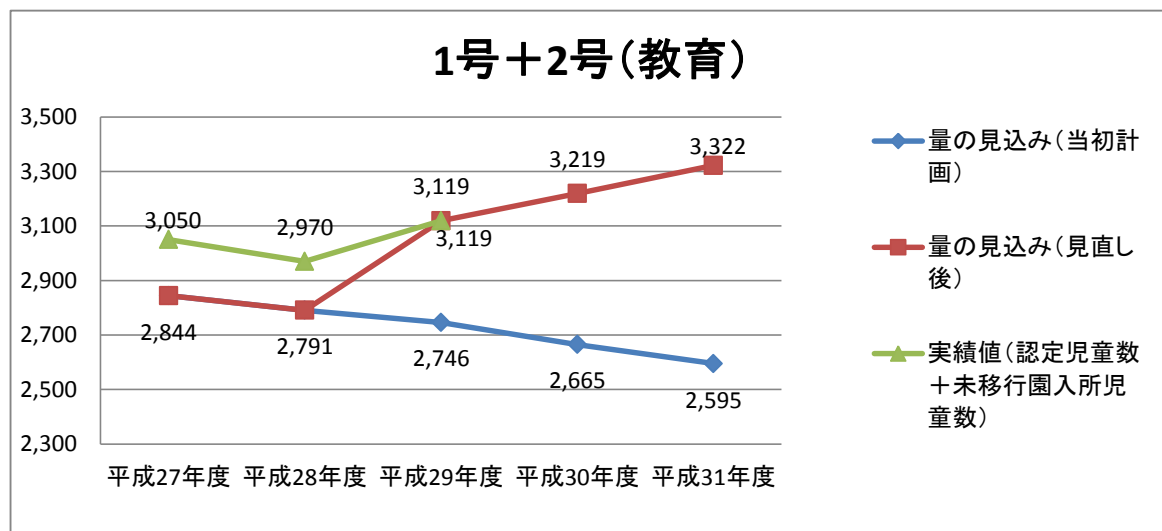
【見直しの考え方】

○1号認定の実績値(未移行園含む)と当初計画の比較では、平成28年度から平成29年度の伸び率は0.113であるが、1号認定を受けて2号(教育)の人が幼稚園等を利用している実態があるため、見直しについては、2号(教育)と合算した量の見込み(当初計画)との比較により行うものとする。

量の見込みの見直し

1号+2号(教育)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み(当初計画)	2,844	2,791	2,746	2,665	2,595
量の見込み(見直し後)	2,844	2,791	3,119	3,219	3,322
実績値(認定児童数+未移行園入所児童数)	3,050	2,970	3,119	-	-
当初計画と実績値との乖離割合	1.072	1.064	1.136	1.208	1.280
前年度との差(伸び)	-	-0.008	0.072	0.072	0.072



【当初計画と現状分析】

○当初計画では減少していくことを見込んでいたが、実績値は平成29年度で増加に転じており、平成27年度から3年連続で量の見込みを上回っている。

【見直しの考え方】

○実績値と当初計画を比較し、平成28年度から平成29年度への伸び率(0.072)が平成31年度まで継続するものと想定し、量の見込みの見直しを行う。



見直し後の量の見込み

(当初計画値) × (当初計画と実績値の乖離割合) = (見直し後の量の見込み)

◆平成30年度 $2,665 \times 1.208 = 3,219$

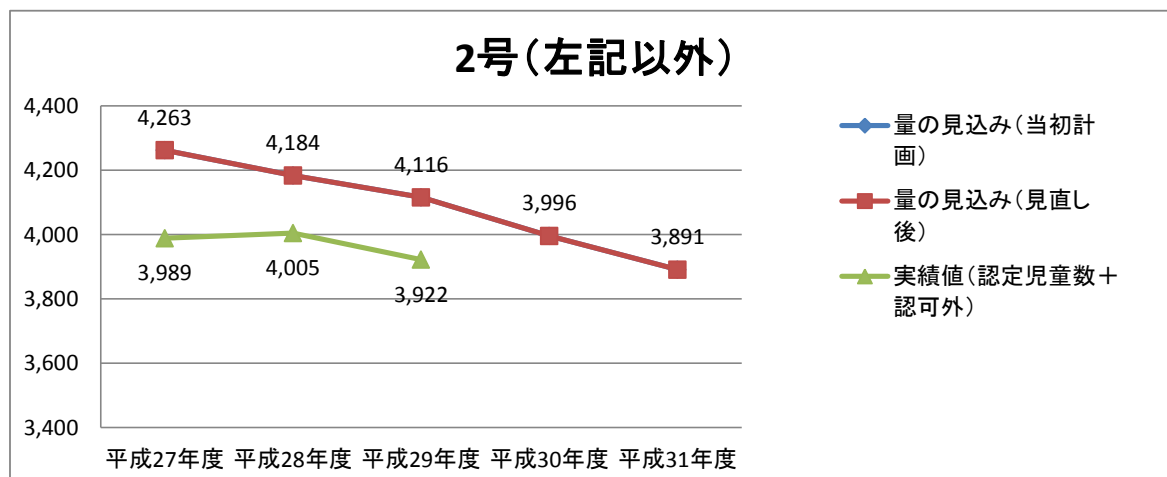
◆平成31年度 $2,595 \times 1.280 = 3,322$

※平成29年度は実績値に置き換える。

量の見込みの見直し

2号(左記以外)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み(当初計画)	4,263	4,184	4,116	3,996	3,891
量の見込み(見直し後)	4,263	4,184	4,116	3,996	3,891
実績値(認定児童数+認可外)	3,989	4,005	3,922	-	-
当初計画と実績値との乖離割合	0.936	0.957	0.953	-	-
前年度との差(伸び)	-	0.021	-0.004	-	-



【当初計画と現状分析】

- 実績値は平成27年度から平成28年度にかけて増加したが、平成29年度では減少に転じている。
- 当初計画と実績値の比較では、3年連続で実績値が当初計画の量の見込みを下回っている。

【見直しの考え方】

- 実績値が当初計画を下回っていることから、量の見込みの見直しは行わない。



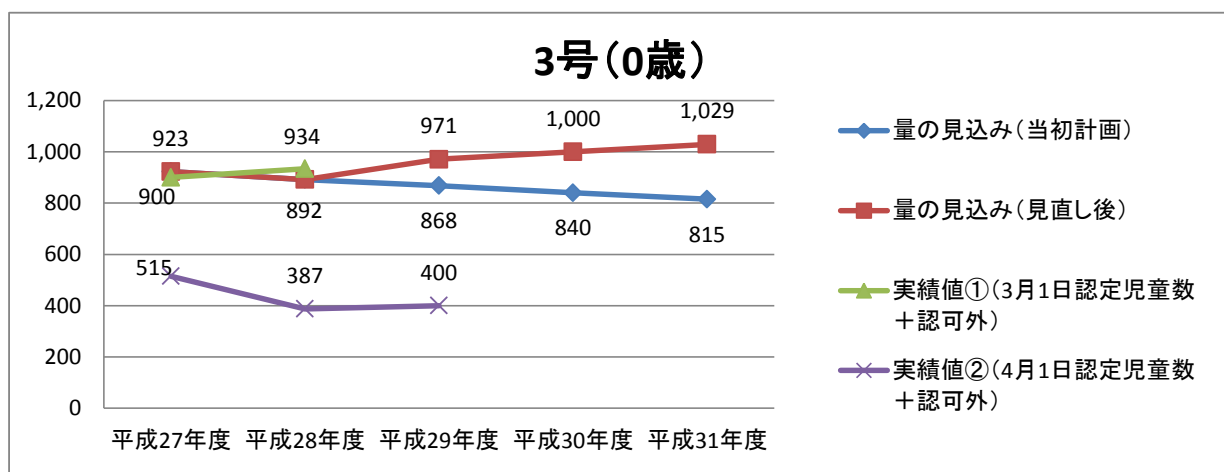
見直し後の量の見込み ※当初計画値どおり

- ◆平成29年度 4,116
- ◆平成30年度 3,996
- ◆平成31年度 3,891

量の見込みの見直し

3号(0歳)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み(当初計画)	923	892	868	840	815
量の見込み(見直し後)	923	892	971	1,000	1,029
実績値①(3月1日認定児童数+認可外)	900	934	-	-	-
実績値②(4月1日認定児童数+認可外)	515	387	400	-	-
当初計画と実績値①との乖離割合	0.975	1.047	1.119	1.191	1.263
前年度との差(伸び)	-	0.072	0.072	0.072	0.072



【当初計画と現状分析】

○当初計画では減少していくことを見込んでいたが、実績値(3月1日)では増加傾向にあり、平成28年度で量の見込みを上回っている。

○平成28年度の4月1日と3月1日の認定児童数を比較すると、約2.4倍の数値となっている。

【見直しの考え方】

○実績値と当初計画を比較し、平成27年度から平成28年度への伸び率(0.072)が平成31年度まで継続するものと想定し、量の見込みの見直しを行う。



見直し後の量の見込み

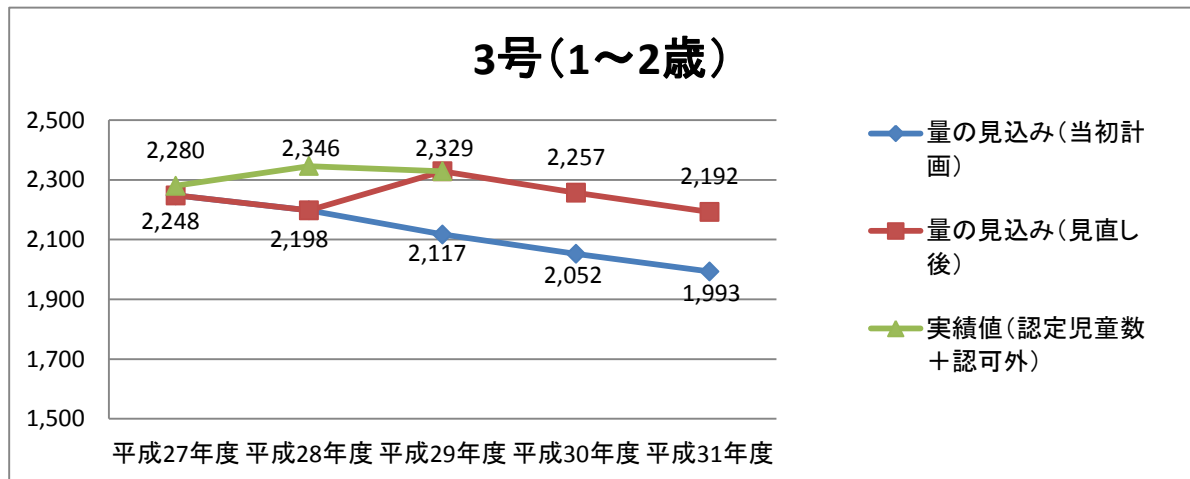
(当初計画値) × (当初計画と実績値の乖離割合) = (見直し後の量の見込み)

- ◆平成29年度 $868 \times 1.119 = 971$
- ◆平成30年度 $840 \times 1.191 = 1,000$
- ◆平成31年度 $815 \times 1.263 = 1,029$

量の見込みの見直し

3号(1~2歳)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
量の見込み(当初計画)	2,248	2,198	2,117	2,052	1,993
量の見込み(見直し後)	2,248	2,198	2,329	2,257	2,192
実績値(認定児童数+認可外)	2,280	2,346	2,329	-	-
当初計画と実績値との乖離割合	1.014	1.067	1.100	1.100	1.100
前年度との差(伸び)	-	0.053	0.033	0	0



【当初計画と現状分析】

○当初計画では毎年度減少していくことを見込んでいたが、実績値では、平成27年度から平成28年度にかけて増加し、平成29年度では減少に転じている。

○実績値と当初計画の乖離割合について前年度との差をみると、平成29年度では平成28年度よりもわずかに減少している。(▲0.020)

【見直しの考え方】

○実績値と当初計画を比較し、平成29年度の伸び率(1.100)が平成31年度まで変わらず推移していくことを想定し、量の見込みの見直しを行う。

見直し後の量の見込み

(当初計画値) × (当初計画と実績値の乖離割合) = (見直し後の量の見込み)

◆平成30年度 $2,052 \times 1.100 = 2,257$

◆平成31年度 $1,993 \times 1.100 = 2,192$

※平成29年度は実績値に置き換える。